

PTAわかやま

第134号
(2026年3月)

発行 和歌山県 PTA 連合会
会長 本松 大策
〒640-8331 和歌山市美園町 2-63
和歌山市立城東中学校内
TEL.073-431-7706 FAX.073-431-7055

- PとTが手をたずさえて学習に参加しましょう。
- 親と子の心がかよう家庭をつくりましょう。
- 地域での教育活動をすすめましょう。

2面…県P研修会全体会の講演より
広報紙コンクール
ある会長のひとり言

3面…伊都地方 PTA 連合会
高野町立高野山小学校

4面…今年度をふりかえって

和歌山県PTA

研修会を終えて

和歌山県PTA連合会 会長 本松 大策

今年度の「県PTA研修会」を開催させていただけましたこと、まずもって心より感謝を申し上げます。

和歌山県PTA連合会は令和8年3月で77周年を迎えることになりました。残念なことに研修会が何年から始まったのか詳細な記録はありませんでしたが、昭和37年には県PTA幹部研修会、昭和40年には県PTA連合会幹部研修会、昭和52年には聞き馴染みのある県PTA指導者研修会として開催されています。

当初は2日間での開催だったようです。1日目は午後から分科会を開催、各連合会や連絡協議会ごとに白浜温泉で懇親会を兼ねた宿泊。そして2日目には全体会として開式行事や講演会などの設えがあったようです。毎年開催されています日本PTA全国協議会の全国大会と同じ開催方法でした。

時々、なぜ白浜町で研修会を開催するのか？といった質問をいただくことがあります。おそらく泊二日で開催されていた時の名残でしょうか。県内で宿泊施設の多い場所、また、高速道路が十分に開通していない事などを考えると白浜町が県内の



全体会場風景

中心地と判断されていたのではないかと思います。一日開催となった今でも、長年浸透してきました開催場所で開催を行っています。

開催場所と同様に、いつまでも変わらないものの「子供達の為のPTA活動」です。今回の開会式の挨拶では日本PTA全国協議会の綱領を紹介させていただきました。

「本会は教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏る事なく、小学校および中学校におけるPTA活動を通して、わが国における社会教育、家庭教育の充実に努めると共に、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図る」

り、もって社会の発展に寄与する」

健全育成とは、すべての子供が心身ともに健やかに成長し、社会の一員として自立できるような個性や発達段階に応じた支援を行うことを指します。PTA活動の目的は「自立」であると考えています。私たちのPTA活動が次世代の担い手となる子供達を育て、やがては住みよい日本を作ることに繋がっていく・・・とお考えいただければ、PTAの必要性というものを感じていただけるのではないのでしょうか。

和歌山県PTA連合会の役目の一つが「子供達の安心安全」です。当連合会に所属していただくと同時に加入をお願いしております県P安全会と、任意で加入いただく小中学生総合保障制度の二つの柱があります。今回の研修会では、東京海上日動火災保険様とAIG損害保険様にお願いをし、開会式前の時間を利用して小中学生総合保障制度についての説明を行なうことができました。加入数の減少に伴って割引率が下がり、賭け金が少しずつ高くなってきたことへの対応策です。単位PTA様におかれましても、一件でも多くご加入をいただけますようお願いいたします。

もう一つの役目が「おとな学びの場の提供」、それが県PTA研修会です。同じPTAという立場で活動されている方々の

事例発表を聞き、「気づき」から「学び」を得ていただきたのが分科会です。輪番で決めさせていただいております郡市連の方々に、4つのテーマで分科会を運営していただいております。今回は私の方々の希望で、高野山真言宗別格本山・南蔵院の林覚乗住職をお招きし『共に育つ』を演題にお話いただきました。皆さまはどのように感じられましたでしょうか？出会いの素晴らしさにお気づきいただき、ご家庭や学校へのお土産としてお持ち帰りいただければ幸いです。

令和7年度県PTA研修会の開催にあたり、お支えをいただきました12郡市連の事務局の皆さま、主催者として一緒に活動をいただきました12郡市連の会長、そして県PTA連合会の役員さんと事務局の方、本当にお世話になり、ありがとうございます。



広報紙コンクール表彰式

林覚乗氏記念講演 『共に育つ』 を拝聴して

今回の講演趣旨に「自分が幸せを感じられるような生き方をしなければ、人を幸せにすることはできない。まず、自分が、今幸せの中に生きていることに気づく事。それには心の勉強が必要である。」とあります。私自身の考え方も良く似ており非常に共感を覚えた講演でありました。

●何故、幸せになれないのか。

講演の中で、自己肯定感が低く、他人と比較する人は幸せを感じにくいとありました。一般的に自己肯定感が低い人は、自身に自信がなく、ネガティブであり、他人を信用できないが、他人からの評価を気にする。承認欲求が強い等といわれています。このような、常に他人と比較する心で生きていけば、心が疲弊し幸せになれるはずはありません。

●心の勉強

常に他人と比較する生き方が幸せでないのなら、どのようにすればよいのでしょうか。その答えは、古代ギリシアの哲学者アリストテレスの「人間は社会的動物である」

という言葉に求められます。人間は、自己の自然本性の完成をめざして努力しつつ、善く生きることを目指す人同士の共同体をつくることで完成に至る。という趣旨であり、人は生まれながらにして、人と関わり成長し、幸せに生きていこうとする心が存在しているといえると考えられます。心の勉強とは、特別なことではなく、日常の中で人と対話し、感謝を伝え、思いやりをもって接する事なのではないでしょうか。

●共に育つ

PTAの趣旨に、「子供たちが正しく健やかに育っていくには、家庭と学校と社会とが、その教育の責任を分けあい、力を合わせて子供たちの幸せのために努力していくことが大切である」とあります。



林 覚乗氏 講演会

す。まず、自身が幸せだといえる心であるよう、心の勉強に取り組んでいきたいと思えます。そのような人が増えていき、家庭・学校・地域の連携で人を育てていく。人を育てるということは、自身も育つ、また地域も発展する。このサイクルが、講演の主題である共に育つということなのでは、ないでしょうか。

和歌山県PTA連合会
副会長 山本 孝司

令和7年度 県PTA 広報紙コンクール 表彰式

令和7年度和歌山県PTA広報紙コンクール表彰式を1月24日に白浜町で開催された県PTA研修会全体会で行いました。

このコンクールは、各校で発行されている広報紙の中から、優秀作品を表彰・公表することにより、PTA広報活動の活発化することを目的としています。

広報紙の目的・使命・記事の内容・編集方法・レイアウトなどについて総合的に審査をし、受賞校を選んでいきます。最優秀賞2校と優秀賞8校の10校を和歌山県の代表として、日本PTA広報紙コン

クールに推薦し、今年度は10校とも奨励賞をいただいています。

令和8年度和歌山県PTA広報紙コンクールへの参加校を募集しています。令和7年度に作成した広報紙の中から、PTA活動のコンテンツが多く含まれるものを1点選び応募をお願いします。

締切 令和8年3月18日(水)

【最優秀賞】

和歌山市立藤戸台小学校育友会
和歌山市立貴志中学校育友会

【優秀賞】

和歌山市立広瀬小学校PTA
高野町立高野山小学校PTA
和歌山市立高松小学校PTA
和歌山市立難賀小学校PTA
広川町立広小学校教育友会
和歌山市立伏虎義務教育学校育友会
和歌山市立紀伊中学校互育会
和歌山市立河西中学校PTA

【奨励賞】

和歌山市立吹上小学校育友会
和歌山市立四箇郷小学校育友会
和歌山市立西和佐小学校育友会
和歌山市立四箇郷北小学校育友会
有田市立田鶴小学校育友会
和歌山市立西浜中学校PTA
和歌山市立東和中学校PTA
和歌山市立西脇中学校愛育会
海南市立海南中学校PTA

ある会長の ひとり言

「PTAは不要では？」という声を耳にすることがあります。責任が重い、時間が取られるなど、そういった印象をおもちの方も多いのではないのでしょうか。

確かに仕事でPTA活動に時間が割けないこともありましたが、それでも、僕は思うのです。子ども達のために、やはりPTAは必要だと。学校だけでは手の届かないところを、保護者と地域の人がそつと支える。その存在が、子ども達の安心や思い出につながる気がします。

完璧である必要はありません。無理をせず、できる人ができる形で関わればよい。大人達が子ども達を思い、同じ方向を向く姿こそが、何よりの学びになるのではないのでしょうか。

これから、AI等で簡単に情報が手に入り、人と人との繋がりが希薄になっていくと思います。だからこそ、PTAや地域の大人達が、生の情報を子ども達に届け、触れ合うことこそが、これからの子ども達にとって必要だと思えます。なのでPTAは必要だ。

伊都地方PTA連合会

高野町立高野山小学校

歴史を紡ぎ、未来を拓く——。
高野山小学校とPTAの新たな挑戦

1. はじめに…聖地・高野山で育まれる「たくましい児童」たち

和歌山県高野山。標高828メートルの盆地に位置し、周囲を8つの山々に囲まれたこの地は、明治19年の創立以来、100年以上の歴史を刻んできた本校の揺るぎない舞台です。人口約2600人という小規模な町でありながら、こども園から大学までが一堂に揃うという、全国的にも極めて珍しく、豊かな教育環境がここにはあります。2004年に世界文化遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」に登録されたこの地域は、総本山金剛峯寺をはじめとする百余りの寺院や宿坊、そして豊かな自然に囲まれた神秘的な霊場です。この「地域全体が素晴らしき情操教育の場」と言える環境の中で、子どもたちは日々、歴史と伝統の息吹を感じながら成長しています。本校が目指すのは、自ら課題を見つけ、進んで行動できる「たくましい児童」の育成です。

2. 「高野町学びの杜」の誕生と深化する教育活動

令和6年9月、私たちの教育



環境は大きな転換点を迎えました。小・中学校、図書館、こども園を集約した新施設「高野町学びの杜」での授業が

開始されたのです。さらに令和7年度からは閉校した花坂小学校の児童も加わり、新たな歩みが始まりました。この「学びの杜」を拠点に、園から中学校までが密に連携した一貫性のある教育が推進されています。授業では、対話や発表、他者との協働を意図的に取り入れ、交友関係を深めながら課題解決能力を養う工夫がなされています。現在、全校児童71名、8学級（普通学級6、特別支援学級2）という規模の中で、一人ひとりに寄り添った教育が行われています。また、特色ある教育プログラムも充実しています。

・英語教育…ブリティッシュ・カウンスルとの協働による国際感覚の醸成。
・ふるさと教育…郷土を愛し、誇りに思ふ心を育てる活動。

・市民性を育てる教育…社会の一員としての当事者意識を養う活動。

これらの活動を通じ、子どもたちは伝統を守るだけでなく、未来の社会を生き抜く力を着実に身につけています。

3. 時代に寄り添うPTA組織の変革

学校が新しく生まれ変わる中、私たちPTAもまた、時代の変化に対応した組織運営を行っています。かつては学年ごとに学級委員を、地区ごとに地区委員を選出する体制をとっていましたが、児童数の減少に合わせ、役員数の見直しを行いました。現在は、会長、副会長、事務局、会計、会計監査、幹事、そして各部会の正副部長を含む合計15名の本部役員が中心となり、運営を担っています。活動の際には、広く保護者に協力を呼びかける形態へと移行したことは、負担を分かち合い、持続可能な活動を続けるための大切な一歩となりました。私たちは、年6回程度の実行委員会を開催するほか、子どもたちの安全を守るための活動を最優先事項としてしています。「セーフティネットの日」のパトロールや、8月の「夜間街頭補導」など、地域と手を取り合いながら、子どもたちが安心して過ごせる環境づくりに尽力しています。

4. 専門部が彩る、子どもたちの笑顔と学びの場

PTAの活動は、主に3つ



餅つき大会

の専門部によって支えられています。それぞれの活動は、子どもたちの学校生活をより豊かにし、保護者同士の絆を深める貴重な機会となっています。

① 社会文化部…安全と文化の架け橋

児童の安全確保と、地域文化の継承、そして情報の共有を担っています。警察と連携した安全教室の開催や、通学路の交差点への「足型設置」など、具体的な安全対策を講じています。また、毎年12月の「餅つき大会」は、子どもたちが地域文化に触れる大切な恒例行事です。これらの活動の様子は、広報誌「杉」として年2回（7月・3月）発行され、保護者や地域へ広く届けられています。

② 家庭教育部…学校生活の支援と交流の場

学校生活のサポートとともに、保護者の学びと交流の場を提供しています。マラソン大会や雪上運動会での児童サポートに加え、保護者向けの「給食試食会」や「フラワーアレンジメント教室」を企画し、親睦を深めています。また、衣類などを有効活用する「リユース会」の運営は、環境意識を高める活動

として定着しています。

③ 児童育成部…感性を育むレクリエーション

子どもたちの豊かな感性と創造力を育む活動を主導しています。7月の「夏の子ども会」では観劇などの芸術的活動を、12月の「冬の子ども会」では、高野山伝統の「宝来（ほうらい）づくり教室」を実施しています。千支の型紙を丁寧に切り抜くこの活動は、子どもたちが郷土の伝統を五感で学ぶ貴重な時間となっています。

5. 結びに…共に育む「学びの杜」の未来

高野山小学校PTAは、世界遺産という特別な環境の中で、学校・地域と密接に連携しながら、児童の健全な育成と安全な生活を支えています。児童数71名という、顔の見える関係だからこそできる、温かく力強い支援が私たちの強みです。新しい「学びの杜」で、子どもたちが自分らしく、たくましく育っていくよう、これからも保護者の皆様と共に歩んでいきたいと考えています。PTA活動へのご理解とご協力を、今後ともよろしくお願いいたします。



宝来づくり教室

「今年度を振り返って」

令和7年6月7日にダイワロイネットホテル和歌山にて開催された和歌山県PTA連合会定期総会より、本年度の活動が開始されました。

令和5年・6年に引き続き連合会長に就任された本松大策氏は『私から考え方を変えていきます』との決意を表明され、和歌山県PTA連合会役員・常任委員の先頭に立って様々な取組みを推進されていますので、その一端を紹介させていただきます。

まずは令和6年度から母親代表委員会を廃止とされました。性別に特化した役割の必要性に関する質問があり、役員会や常任委員会にて慎重に話しあった結果として、昨年度からの廃止へと至りました。その他も県PTA連合会として取り組みを奨励している三行詩コンクールの入賞児童生徒への表彰授与や、PTA活動を安心安全に進める為の安全会制度の認知向上への取り組みがあります。

いずれも県内PTA会員の皆様から頂いた意見が発端であり、これまでの考え方を見直し、役員会や常任委員会での慎重な協議のうえ実施に至っております。さて、本年度も和歌山県PTA

TA連合会が参画する三つの研修会が実施されましたので、それらについてもご紹介させていただきます。

まず、8月に『日本PTA全国研究大会 石川大会』が開催されました。全国から約五〇〇〇名のPTA会員が一堂に会して学びを深め合う本大会には、和歌山県から18名が参加しました。大会テーマは『サステナブルな未来づくりのために』創造と協議を石川から〜で、6つの分科会と2つの特別分科会、記念講演が行われました。大会を通して、災害時に子どもたちの命を守るために、また子どもたちの学びを止めないために、何ができて、何をすべきなのかを常に考え、備えておく必要があると強く感じました。

続いて11月には『近畿ブロック研究大会大阪府大会』が開催されました。『めぐり愛 まなび愛 ささえ愛 めっちゃええ(愛)やん!愛でつながるPTA 大阪から新時代へ〜』という大会スローガンの元、5つの分科会と特別分科会、記念講演が開催されました。記念講演で話してくださったトキヨーコーヒー代表の吉田田タカシ氏は『親と子どもは血は繋がっている。教育とは、子どもに

裁量と決定権を与えることだ。』と仰っていました。とてもハッとさせられる言葉でした。

そして三つ目は、令和8年1月に白浜にて開催された「和歌山県PTA研修会」です。本年は約一〇〇〇名の会員が白浜町立総合体育館へ参集し、子供達の健やかな成長の為にPTAとして何ができるのか学びを深めました。

こうして様々な活動に取り組んできた令和7年度ですが、もうひとつご紹介したい活動があります。それは、令和9年度に開催される「近畿ブロック研究大会わかやま大会」準備委員会の活動です。

本研究大会は近畿圏内各地より一〇〇〇名近くのPTA会員が集い、学びを深め合う大会です。県内PTA会員皆様の総力を結集して大会を成功へと導いていくために、ぜひ大会準備へのご協力を頂きますようお願い致します。

最後になりますが、活動を進めるにあたりご尽力下さいました常任委員の皆様、また和歌山県内PTA会員、関係者の皆さまに厚く御礼を申し上げます。

一年間、誠にありがとうございました。和歌山県PTA連合会 副会長 成瀬 裕之

PTA 安全会のご相談と お子様のケガの保険のご相談は...



和歌山県PTA連合会推薦

取扱代理店 有限会社アイニス(担当 石倉)

〒640-8390 和歌山市有本133番地5

TEL 073-424-1744

FAX 073-435-3422

受付時間: 平日の9:00~17:00(土日祝日、12/30~1/3を除きます。)

引受保険会社 損害保険ジャパン株式会社

24時間365日学校内外問わず 安心の補償でお守りします!

和歌山県PTA連合会推薦 [団体総合生活保険]

小中学生総合保障制度

簡単!便利!
書類の提出不要!!
WEB加入
はじまりました

※詳しくは担当支社まで
お問い合わせください



[引受保険会社]



東京海上日動

[担当支社] 和歌山支社

☎ 073-431-1374

南紀支社

☎ 0739-24-1822

事故発生時の連絡先 ☎ 0120-119-110

和歌山県PTA連合会推薦 小中学生総合保障制度

もしもの時は、スピーディーに
保険金をお支払いします!



デジタル保険金請求

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術、持ち物の損害は

オンラインで簡単請求

24時間365日 いつでも、どこでも受け付けます!



簡単支払特急便

ケガによる入院・通院、病気による入院・手術で10万円以下のご請求は

電話による事故報告のみ

受付時間 月~金曜日 9:00~17:00(土・日・祝日・年末年始を除く)

ご利用には条件がございます。ご利用条件とご利用方法は、ご加入後に送付する加入者証でご案内します。

※持ち物の保険は「学校持ち物賠償特約」、「旅行品賠償特約」に付帯されているプランの申込に利用いただけます。

引受保険会社

AIG損害保険株式会社 和歌山支店

〒640-8355 和歌山市北ノ新地1-25

(AIG和歌山ビル3階)

TEL 073-432-5641 FAX 073-428-2335

取扱代理店

フォーユー株式会社

〒640-8203 和歌山市東麓前丁4番地

(アーストリビル6階)

TEL 0120-175-688



AIG 損保

BW-0003 202602